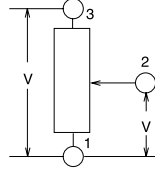


## ご使用上の注意

### 〔アナログスティックコントローラの使用回路について〕

可変抵抗器は、図Aのように電圧調整形でご使用ください。

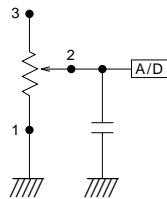
(図A) 電圧調整形



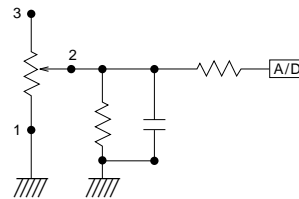
### 〔出力側インピーダンスについて〕

当ボリュームは、図1の様に、その出力端子をマイコンのA/Dポートに直接接続して使う事を前提に、製作されています。つまり、接続インピーダンスの値はメガオームオーダーを前提とし、ボリューム内部の接触抵抗をかなり高めに設定しています。よって、図2の様な回路でご使用になる場合は、接続インピーダンスが1Mオーム以下にならないように、ご配慮願います。

(図1)



(図2)

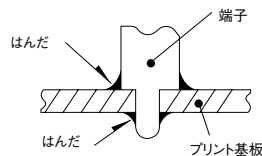


### 〔結露について〕

製品内部が結露したり、水滴が付着するような条件でのご使用はお避けください。絶縁劣化やショートの原因となります。

### 〔はんだ付けについて〕

図のように、プリント基板の上面にはんだが流れ出てくるような配線やはんだ付けは、接触不良の原因となる場合があるためお避けください。



### 〔端子へのストレスについて〕

端子に過度のストレスが加わらないように取扱い、はんだ付条件をご配慮ください。

### 〔製品の取扱いについて〕

軸に負荷が加わったままの状態での梱包や保管されますと、性能に支障をきたすおそれがありますのでご配慮ください。

上記、使用上の注意事項に関しては、

(社) 電子情報技術産業協会 発行の技術レポートEIAJ RCR-2191A  
電子機器用ポテンショメータの注意事項ガイドライン  
(2002年3月発行)

より引用しています。

詳細は、上記技術レポートをご参照ください。

ロータリ  
ボリューム

スライド  
ボリューム

多機能操作  
デバイス

センサ

可変抵抗  
タイプ

スイッチ  
タイプ